Ecoustic® Series
E20 Acoustic Guitar Amplifier

取扱説明書

www.peavey.jp

使用上のご注意

■ この説明書をよく読んで下さい。

■ この説明書を無くさない様大切に保管して下さい。

■ 注意事項を必ず読んでからお使い下さい。

■ 安全事項にも従って下さい。

■ 水の近くで当製品を使用しないで下さい。

■ 汚れた時は乾いた布で拭いて下さい。

■ 換気口を塞がないで下さい。説明書に従ってインストールして下さい。

■ 暖房機器や他のアンプなど、熱を発する機器の近くに置かないで下さい。無理やり形状の違うコンセントに挿さないで下さい。有極プラグは片方のブレードが幅広くなっています。アース付プラグは2つのブレードの他にアース端子も付いています。アースは安全の為のものです。ご自宅のコンセントに差し込めなかった場合、電力会社に相談して下さい。

■ 電源ケーブルを踏んだり、曲げたりしないで下さい。

■ 落雷の恐れがある時や、長時間使用しない時は電源ケーブルを外して下さい。

■ 修理が必要な時は専門家に依頼して下さい。ケーブルがダメージを受けたり、本体が傷ついたり、濡れたり、落として壊れたりした場合、修理に出して下さい。

■ 換気の為に本体の後ろに必ず60センチ程度のスペースを空けて下さい。換気口の上に新聞、テーブルクロスやカーテン、といった物を置かないで下さい。

■ ロウソクや火が付くような物を本体の近くに置かないで下さい。

■ 濡れている物も本体の近くに置かないようにして下さい。
注意：安全のため、本体を雨や湿気に晒さないで下さい。

■ なるべくコンセントの近くに設置して下さい。
注意：必ず適切な接続をしてからアンプを操作して下さい。アンプが故障する可能性があります。

■ 直射日光や高い湿度は避けるようにして下さい。

■ 必ずアースを接続して下さい。

■ ヒューズやチューブを交換したりする前に必ず電源ケーブルをコンセントから外して下さい。ヒューズを入れ替える時は、必ず同じタイプのヒューズを使って下さい。

■ 動作中にチューブに直接触れないで下さい。

■ 小さなお子様の手に触れないよう注意して下さい。

■ 故障を避けるため、ケーブルなどを接続する前に電源を切って下さい。

■ 汚れを取る際に溶剤を使用しないで下さい。

■ 必ず本体の裏面に表示されている条件を満たすAC電源を使用して下さい。輸出モデルは各国の電圧に合わせてあります。お住まいの規定に従って電源に接続して下さい。

■ 大きな音が出ますので、スピーカーに耳を近づけないで下さい。

Ecoustic®E20
Acoustic Guitar Amplifier

はじめに

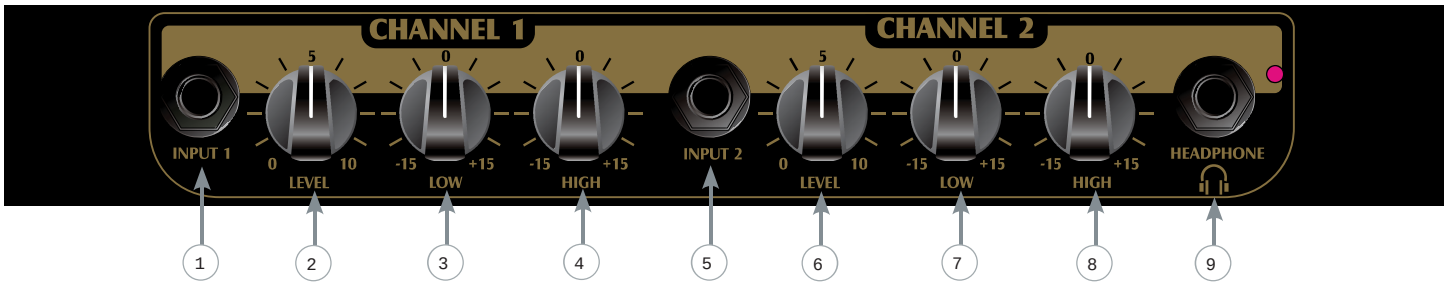
Peavey Ecoustic® E20アコースティック・ギター・アンプを買い上げいただき、誠にありがとうございます。E20は、練習やライブ前のウォーミングアップや作曲など、音質を大切にしながらも、大きいアンプが必要ない時に最適な製品です。E20は、アコースティック・ギター・プレイヤーやキーボードプレイヤーなど、コンパクト・デザインで、フルレンジの出力を必要としているミュージシャンに最適なアンプです。E20の８インチの堅牢なスピーカーの定格入力は２０ワットです。また、E20はヘッドフォン出力も装備しています。チャンネルは2つあり、それぞれ、TSフォーン入力端子、レベル・コントロール、2バンドのアクティブ・イコライザー（低域、高域 を備えています。フロント・パネルのヘッドフォン端子にヘッドフォンを接続すると、内蔵のスピーカーは自動的にオフになります。E20の注目すべきポイントは、軽量でコンパクトであるにも関わらず、とても“ 大きな ”音が出るという事です。さあ、早速音を出してみましょう! 7.9kgの軽さは、“ すぐさま始めたい ”プロジェクトに最適です。サイズは?うーん、それは、何処にでも置ける大きさと言えばいいかな。他のEcousticシリーズ同様に, E20は、ツアーに耐える作りをしています。まず、コーナーを補強した, とても強靭なブラック・カバー。次に, スピーカーを保護する為の, 強固な金属グリル。このアンプは, サウンド, 可搬性, 堅牢性、全てに於いて優れた設計をされています。

⚠ このガイドを注意深く読んで, アンプを安全にご使用下さい。

機能

- 高級なフルレンジ・スピーカー
- 2 チャンネル
- 各チャンネルに独立した入力とEQ
- ヘッドフォン端子
- 魅力的なデザイン

トップパネル



1. INPUT（入力端子）
チャンネル1の入力端子です。このTSフォーン入力端子に、アコースティック楽器やキーボードを接続します。

2. LEVEL（レベル）
チャンネル1のTSフォーン入力端子のレベル（音量）を調整します。

3. LOW EQUALIZATION（低音域EQ）
低音域を調整するアクティブ・トーン・コントロール（+/-15 dBシェルビング・タイプ）。
注意：必要以上に低音をブーストすると、スピーカーの故障の原因になる可能性があります。

4. HIGH EQUALIZATION（高音域EQ）
高音域を調整するアクティブ・トーン・コントロール（+/-15 dBシェルビング・タイプ）。

5. INPUT（入力端子）
チャンネル2の入力端子です。このTSフォーン入力端子に、アコースティック楽器やキーボードを接続します。

6. LEVEL（レベル）
チャンネル2のTSフォーン入力端子のレベル（音量）を調整します。

7. LOW EQUALIZATION（低音域EQ）
低音域を調整するアクティブ・トーン・コントロール（+/-15 dBシェルビング・タイプ）。
注意：必要以上に低音をブーストすると、スピーカーの故障の原因になる可能性があります。

8. HIGH EQUALIZATION（高音域EQ）
高音域を調整するアクティブ・トーン・コントロール（+/-15 dBシェルビング・タイプ）。

9. HEADPHONE JACK（ヘッドフォン・ジャック）
ステレオ・ヘッドフォンを接続します。ヘッドフォンが接続された時に、内部スピーカーがオフになって、回りに迷惑を掛けずに演奏出来ます。

バックパネル

10 POWER SWITCH (電源スイッチ)
電源オン／オフ切替スイッチ。電源がオンの時に赤色のランプが点灯します。

11 電源ソケット
ヨーロッパ・スタイルの取り外し可能な電源コードをこのソケットに差し込みます。アンプの電源を入れる前に、必ず電源コードがソケットにしっかり入っている事を確認して下さい。

ノート: 必ず付属の電源ケーブルを使用して下さい。

仕様

定格出力とスピーカー・インピーダンス:
20ワット (rms) ／4オーム

クリッピング・パワー:
(1 kHz、120 VACに於ける歪率5%)
20ワットRMS ／4オーム

歪率:
0.5%未満, 100 ミリワット—12 ワット RMS、
60 Hz—10 kHz, 4 オーム (0.2%未満)

消費電力:
50 ワット、50/60 Hz, 120 VAC

プリ・アンプ・セクション:
下記の仕様は, EQをフラットの0 dBにして, 1 kHz の入力を測定したものです。名目値は, レベル5、最小値は, レベル10の値です。

楽器の入力:
入力インピーダンス: 220 K オーム
名目入力レベル: -4.5 dBV, 600 mV RMS
最小入力レベル: -20.6 dBV, 93 mV RMS
最大入力レベル: +12 dBV, 4 V RMS
周波数特性: +0、-2 dB、50 Hz — 10 kHz

ヘッドフォン端子:
(ステレオ・ヘッドフォン端子、モノラル信号)
インピーダンス: 4オーム以上
名目出力: 20 ミリワット／4 オーム
(ヘッドフォン接続時スピーカー・オフ)

システム・ハム・ノイズ:
80 dBV (2チャンネル動作時)

イコライザー (両チャンネル)
15 dB @ 80 Hz、8 kHz、シェルビング

サイズ (高さx幅x奥行):
362 mm x 349 mm x 229 mm

重量:
7.89 kg

ノート: 製品仕様は, 予告無しに変更する場合があります。

メモ

www.peavey.jp

株式会社　キョーリツコーポレーション
www.kcmusic.jp

□本社・名古屋営業所　〒468-0002 名古屋市天白区焼山1-813
TEL 052-847-5300(代)　FAX 052-847-5310
□東京営業所　〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-5-11 堀留Dビル4F
TEL 03-5614-2081　FAX 03-5614-2166
□大阪営業所　〒564-0051 大阪府吹田市豊津町11番34号 第10マイダビル301号
TEL 06-6310-7833　FAX 06-6310-7858
□福岡営業所　〒812-0029 福岡市博多区古門戸町2-4 KSコモンドビル201号
TEL 092-271-1125　FAX 092-271-1203
□仙台営業所　〒980-0811 仙台市青葉区一番町1丁目16-23 SLSビル3F
TEL 022-212-9311　FAX 022-212-9322
□札幌営業所　〒060-0061 札幌市中央区南一条西六丁目15-1 札幌あおば生命ビル9F
TEL 011-242-3323　FAX 011-242-3325